

# Discussion 1

## 座談会



### ●テーマ

## 「改めて考えるトリグリセライドと動脈硬化の関係」

トリグリセライド(TG)は、small dense LDL やレムナントの増加を介して動脈硬化を惹起することから、冠動脈疾患発症予防を目指すうえでその管理は重要である。高TG血症がどのような機序で、動脈硬化惹起性リポ蛋白の増加をもたらすのか。また、高TG血症を背景とした脂質異常症に、われわれはどのように治療介入していくべきか。今回、これらの議題を中心に高TG血症による動脈硬化惹起性についてご討論いただいた。



● 大阪大学大学院医学系研究科  
臨床遺伝子治療学教授  
**森下 竜一先生(司会)**



● 昭和大学医学部内科学講座  
糖尿病・代謝・内分泌内科学部門教授  
**平野 勉先生**



● 東京医科歯科大学大学院  
先進倫理医学教授  
**吉田 雅幸先生**



● 大阪大学大学院医学系研究科  
循環器内科学・総合地域医療学寄付講座教授  
**山下 静也先生**



● 名古屋大学大学院医学系研究科  
循環器内科学教授  
**室原 豊明先生**



● 横浜市立大学大学院医学研究科  
分子内分泌・糖尿病内科学教授  
**寺内 康夫先生**



● 群馬大学大学院医学系研究科  
臓器病態内科学教授  
**倉林 正彦先生**

(発言順)

SAMPLE